

第70回 日本実験動物学会総会に向けて

大会長 杉山 文博

(筑波大学生命科学動物資源センター)

このたび、「公益社団法人日本実験動物学会」の定期大会である『第70回日本実験動物学会総会(大会)』を令和5年(2023年)5月24日(水)~26日(金)の3日間、つくば市の「つくば国際会議場」にて開催することとなりました。

つくばでの本大会開催はこれで3回目となります。第41回(今道大会長)、そして第60回大会(小幡大会長)がつくばで開催され、それから10年の節目である第70回大会をつくばで開催できること、たいへん光栄に存じます。第60回大会は人生に例えられ還暦での開催でしたが、本大会は『古希』での開催となり、たいへんめでたく、本学会の益々の発展を祈念し、新たな気持ちで開催にのぞみたいと考えております。

本学会は、実験動物に関わる教育・研究に止まらず、実験動物を用いた最先端医薬品開発・高度医療技術開発、またそれらを支える実験動物の飼育や解析機器の開発から販売まで、幅広い分野の皆様により構成されております。そのような皆様方が一堂に集い、語り合うことにより、本学会の目的である『実験動物学及びその関連領域の進展、普及を図り、もって我が国における学術の進展及び科学技術の振興に寄与』するものと考え、本大会のテーマを「語ろう実

験動物 ~より広く・より深く~」としました。

一人でも多くの皆さんに本大会に参加いただくため、大会ホームページ(<https://cfmeeting.com/jalas70/>)も一新し、ワイド画面に鮮やかなイラストを掲載することとしました。多様な実験動物と実験手技そして支援が素晴らしい成果を生み革新的な医療に繋がる大会になることを願ったイラストです。ホームページでは遊び心で兎年に因んだ細工も施していますので是非ご覧ください。ポスターも3種類(縦型、横型、英語版)ホームページから入手できますので、関係の皆様への周知にご利用いただけると、嬉しく存じます。英語版は公開の機会も少ないので本頁の下部に載せさせていただきます。

特別講演は2演題(特別講演1:基礎科学の進歩が切り開く新しい

移植医療(中内啓光先生)、特別講演2:遺伝子改変マウスによる新視神経ペプチド産生ニューロンの機能解明(櫻井武先生))、シンポジウムは8枠、LASセミナーは3枠、優秀発表賞セッション、口頭発表(一般)セッション、ポスター発表セッション、8つのランチンセミナー、6つのホスピタリティールーム、年次総会・学会賞授賞式・受賞講演、情報交換会そして器材展示会と盛りだくさんとなっております。詳細は実験動物ニュース(2023年Vol.72 No.1およびNo.2、<https://www.jalas.jp/info/news.html>)で紹介されておりますので是非ご覧ください。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

(日動協ホームページ、LABIO 21カラーの資料の欄を参照)

